原発事故を想定して避難原子力防災訓練

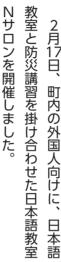


鹿児島県原子力防災訓練が実施されました。 力川内原子力発電所での重大事故を想定した 2月14日から16日までの3日間、 九州電

避難所でのテントやトイレの設置方法など の船を利用した避難訓練を実施したほか、 避難所と想定してバスや自家用車、自衛隊 100人が参加。訓練では、町民体育館を 住民や消防団、 該当する5集落を中心に訓練が行われ、 避難所開設方法の訓練を行いました。 急時防護措置を準備する区域=UPZ)に 本町でも原子力発電所から30*」圏内(緊 町職員、分遣所職員ら約

日本語教室×防災講習

みんなと一緒に学びを深める



たり、非常食の試食などを行いました。 の学びを深め、避難テントとマットを準備し 消防団)や町職員などが一緒に防災について を図るため、外国人参加者と椿妃隊 これは、地域との交流や防災意識の醸 (町女性 成だ

て嬉しい」と話しました。 て学習できて良かった。同教室で勉強でき んなと一緒に避難所のテントや食事につい 参加した福永ゆきさん(城川内)は「み

鹿児島県下一周駅伝大会 の思いを胸に力走



場しました。 児島実業高校2年・写真2)、山口健伸さ 583・3 *」を競う第2回鹿児島県下一周 樋速太さん(菅牟田・同役場)の5人が出 田ノ上尚吾さん(菅牟田・長島町役場)、 写真1)、山下真太郎さん(平尾出身・鹿 田智史さん(幣串出身・陸上自衛隊国分・ 市郡対抗駅伝競走大会が開催されました。 ん(平尾出身・鶴翔高校1年・写真3)、 2月15日から19日までの5日間、53区間 本町からは、出水チーム選手として、 池

を見せました。 選手たちは郷土への思いを胸に力強い走り 期間中、強風や雨天の日もありましたが、



